



西国二十九番札所松尾寺へ続く古道が今寺・高野地区に今も残っています。道中、点在する道標が当時の旅路を想像させます。

①中山寺

北陸三十三力所観音霊場の第一番である中山寺は、青葉山の中腹にあり、美しい高浜和田海岸を一望できます。天保8年(736)、聖武天皇の勅願によって泰澄大師が創建したと伝えています。鎌倉時代後期の建築である本堂に安置されている本尊・馬頭観音坐像は、像高79.3mの檜寄木造り、三面八臂の忿怒像で、共に国重要文化財です。平成20年には、本堂の葺き替えも済みとても綺麗です。



③高野集落

高低差のある高野集落は、細い路地や見事な石垣など、里山の集落ならではの景色に出会える場所です。また、京都の高野山と並ぶ「一乗寺」という七堂伽藍二十五坊を構えた大きな寺があつたとも云われており、そのため高野(こうや)という地名がつけられているとも伝えられています。



⑤今寺のお堂と道標

今寺集落入り口にあるお堂の広場に立つ道標(石柱)には、左右の方向を示す指差し絵とその下に「まつのを」「ちくぶ志ま道」と刻まれています。

本来は道の反対側に立っていたため、指の示す方向が逆転していますが、今も大切な地域資源として残されています。



⑦熊野神社

今寺集落の一番上に建つ熊野神社は、青葉山登山道の入り口となっており、道路を登ってくる時に見える大きな2本の銀杏の大木が目印です。熊野神社からの棚田と農村の風景も必見です。



⑨大杉神社

樹齢800年を越える大杉があり、その昔、里に下りてきた大蛇がこの清水を飲み、不思議な力が出て三本の杉を巻き締め、一本の大杉にしたと伝えられています。大杉のすぐ横には、江戸時代から清水と紹介されていた名水「大杉の清水」が湧き出ています。現在も水汲み場となっているため、遠方からわざわざ水を汲みに来る方のたえない名水です。



②青葉神社

中山寺からの雰囲気ある散策道の途中にある青葉神社は、神聖な空気を感じる場所にひっそりとあります。青葉山登山に出かける場合は、是非この青葉神社に立ち寄って、安全祈願をしていきたいものです。
※中山寺の裏手。散策道から少し右手に入ります。



④上成(かみなり)の大岩

上成の大岩は、溶岩の大きな岩で、その上に道標が立っています。この道標は、天保6年(1835)の建立で「右ちくぶ志ま道」「左中山道」と刻まれています。またこの岩には、弘法大師の小さな石像も祀られています。



⑥棚田

今寺集落には美しい棚田が広がっており、グリーンツーリズム事業の一環として「棚田オーナー」による都市農村交流を行っています。5月の田植え、9月の稻刈り、10月頃の収穫祭の他、山菜採り体験なども実施しています。



⑧松尾寺

松尾寺は、西国霊場第29番札所として昔から参拝者の絶えない歴史あるお寺です。馬頭観音を本尊とし、国宝も有する文化財の多さも歴史の深さを物語っています。また江戸時代から伝わり、国の重要な無形民俗文化財に指定されている宗教行事「仏舞」も有名です。

山門下には、茶屋が軒を連ねており、名物のうどんやぜんざいは、旅の疲れを癒す贅沢ではないでしょうか。

※平成20年10月から1年間は、77年に1度のご開帳の年にあたっています。

